弥仙山（みせんざん）

木花咲耶姫命と彦火々出見命

金峰山神社の祭神である木花咲耶姫命と於成神社の祭神である彦火々出見命。この神々さまも、実は、大本と関係の深い神さまです。

三代教主である出口直日は、「今度水晶の種を地の高天原に授ける。それは木花咲耶姫命の御霊である」との神示により、聖師と二代教主の後継者としてこの世に聖誕しました。

また、三代教主補・出口日出麿尊師には、木花咲耶姫命のご神業を補佐するお役の彦火々出見命のご神霊が宿り、夫として、教主補として直日とともに神業に尽力しました。

この2柱の神さまは「天地和合、神人和合の仲立ちの神である」と、大本の教典に記されています。

清らかな空気の中…

弥仙山祭典が行われる4月下旬は、気候的にも過ごしやすく、山の緑とさわやかな春の風が、祭典をよりすがすがしいものにしてくれます。

またそのほかの季節にも、山はそれぞれに表情を変え、神聖な空気で私たちを迎えてくれることでしょう。

この神気に満ちた霊峰・弥仙山に、一度、登拝されてみてはいかがですか？

弥仙山に咲くヤマシャクヤク

形の整った、美しい姿が目を引くこの山は、霊峰・弥仙山です。

京都府綾部市にある弥仙山は、丹波富士と呼ばれ、古くから地元住民に親しまれるだけでなく、大本にとっても、とても大切な霊山の一つです。

それでは早速、ご紹介いたしましょう。

みろく博士

大本本部

綾部・梅松苑　綾部祭祀センター
〒623-0036
京都府綾部市本宮町1-1 梅松苑 ／ TEL 0773（42）0187

亀岡・天恩郷　亀岡宣教センター
〒621-8686
京都府亀岡市天恩郷 ／ TEL 0771（22）5561

東京本部　東京宣教センター
〒110-0008
東京都台東区池之端 2-1-44 ／ TEL 03（3821）3701

大本ホームページ　http://www.oomoto.or.jp/
※「大本いろは」は大本ホームページ（信徒専用ページ）から、カラーでダウンロードできます

＜連絡先＞

霊山・弥仙山

綾部盆地の東北、綾部市と舞鶴市との境に位置する弥仙山は、綾部・梅松苑から約20キロ、綾部市於与岐町にある標高664メートルの霊峰です。高くそびえる三角錐の秀麗な山容は、〝丹波富士〟とも呼ばれています。

ここは、修験道の修行の場として奈良時代に開山されたと伝えられており、明治5年（1872）までは女人禁制となっていました。

山頂の金峰山神社には木花咲耶姫命が、また、中腹にある於成神社には彦火々出見命、そして山麓の三十八社には水分の神が祭られています。これらの神々は子授けや子を守り育てる神として住民から親しまれるなど、弥仙山は古くより人々から崇敬される神山でした。

弥仙山と大本

明治34年旧9月8日、大本の開祖・出口なおは、64歳という身でありながらただ一人、神命のままに於成神社へ1週間こもり、滝での水行をはじめ、お筆先（大本いろは№20参照）を書き続けました。これを「岩戸ごもり」といい、大本の歴史上、大変重要な神事の一つです。

この「岩戸ごもり」の2年後、明治36年旧4月28日、今度は開祖、出口王仁三郎聖師、出口すみこ二代教主、そして聖師とすみこの間に誕生したばかりの出口直日三代教主が、神命により、そろってこの弥仙山に参拝しました。これを「岩戸開き」といいます。

先の「岩戸ごもり」以降、暗やみの世になっていた神界が、「岩戸開き」により、いよいよ明るい世界となり、神界の神々をはじめ、天地、世界の和合が行われた意義深い神事と示されています。

このように、神さまの経綸として大切な神事が行われた弥仙山は、大本にとってゆかりの深い、重要な霊山です。これらの神事をしのび、大本では毎年4月28日の「岩戸開き」の記念日に、弥仙山祭典を執行しています。

金峰山神社

祭神：木花咲耶姫命

弥仙山祭典当日、山頂の金峰山神社では、午前 11 時から祭典が執行されます

水分神社（三十八社）

祭神：天ノ水分大神・国ノ水分大神

八幡神社

祭神：八幡大菩薩 他

於成神社祭典終了後、麓にある水分神社、八幡神社に礼拝。その後、八幡神社では、地元の方々による甘酒接待が行われます

於成神社

祭神：彦火々出見命

金峰山神社祭典に引き続き、中腹にある於成神社に参拝